

水戸市議会報

令和5年

3月定例会

No.243

2023年5月1日号

令和5年度当初予算 2,028億円を可決

- 可決した議案 3
- 代表質問, 一般質問 4~10
- 特別委員会最終報告 11
- 常任委員会報告 12, 13
- 令和5年度予算 14, 15



今定例会では、中学校給食費の無償化を盛り込んだ新年度予算を可決しました。この日の献立は、県等主催の料理コンテストで入賞した生徒考案の料理を取り入れており、市立小・中学校全校で提供されました。(3月上旬撮影)

令和5年度を迎えて

議長

須田 浩和

副議長

大津 亮一



令和5年第1回定例会では、市政運営の基本となる当初予算などの議案について、慎重に審議し、議決いたしました。

中学校給食費の無償化など、重要政策であることも・子育て支援施策の拡充に重点的に取り組むとともに、行政手続のデジタル化やゼロカーボンシティの実現に向けた施策を推進してまいります。

また、大震災から12年が経過し、7月には市民会館が待望のオープンを迎え、更なるまちのにぎわい創出が期待されます。

議会といたしましても、地域経済の回復や市民生活の安定に取り組む、選ばれる魅力ある都市となるために、真摯に議論を行ってまいります。

今後も、皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

定例会あらまし



会期

3月6日から23日までの18日間

特別委員会最終報告

- (1) 各特別委員長による最終報告(11ページ参照)
- (2) 付議事件の調査終了を議決

議員質問

- ・ 代表質問6名(4~6ページ参照)
- ・ 議案質疑1名
- ・ 一般質問13名(7~10ページ参照)

委員会付託議案

- (1) 各常任委員会における議案の審査
- (2) 各常任委員長による委員会審査の経過並びに結果の報告(12、13ページ参照)
- (3) 討論 反対1名、賛成1名
- (4) 採決 原案のとおり可決

人事案件等

- ・ 市長追加提出の人事案件等7件を同意(3ページ参照)

議員提出議案

- ・ 議員提出の議案1件を可決(3ページ参照)

意見書

- ・ 議員提出の意見書2件を可決(3ページ参照)

請願・陳情

- (1) 建設企業委員長による陳情審査結果の報告
- (2) 令和5年陳情第4号を不採択(3ページ参照)
- (3) 請願・陳情の閉会中継続審査を決定

閉会中所管事務調査

- ・ 各常任委員会等の閉会中所管事務調査を決定

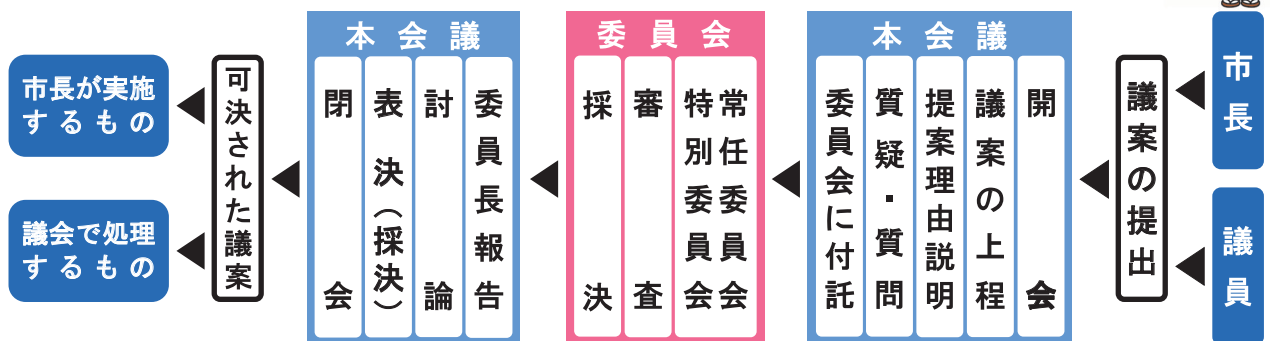
勇退議員挨拶

福島辰三議員、渡辺政明議員、田口米蔵議員、内藤丈男議員、五十嵐博議員、中庭次男議員、栗原文隆議員、飯田正美議員



本会議の様子

議案審査の流れを紹介します



可決した議案



今定例会で可決した主な議案を紹介します。

市長提出議案	計	49件
令和5年度予算		12件
令和4年度補正予算		9件
条例の制定・改正		17件
その他		11件

令和5年度予算(14、15ページ参照)

◆予算総額

2028億3540万円

〔一般会計〕

1174億7000万円

〔特別会計〕

543億840万円

〔公営企業会計〕

310億5700万円

動物愛護基金条例

動物愛護基金を設置するため、新たに条例を制定するもの

中小企業・小規模企業振興基本条例

中小企業・小規模企業の振興を図るため、基本理念や市の責務及び中小企業者その他の関係者の役割等を定める新たな条例を制定するもの

手数料条例の一部改正

輸出証明書交付手数料等を新設するとともに、長期優良住宅の普及の促進に関する法律等の改正に伴い、関係規定の整備を行うもの

土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例の一部改正

土地の埋立て等の適正な管理を図るため、条例が適用される面積の下限を撤廃し、500㎡未満の土地についても規制の対象とするなど、関係規定の整備を行うもの

市街化調整区域に係る開発行為等の許可基準に関する条例の一部改正

企業誘致の更なる推進に向けて、市街化調整区域において、工場、流通業務及び研究開発施設の立地を可能とする区域を指定するため、関係規定の整備を行うもの

国民健康保険条例の一部改正

出産育児一時金の支給総額を42万円から50万円に増額するため、関係規定の整備を行うもの

財産の取得の変更

市民会館で使用するピアノの取得価格を変更するもの

令和4年度一般会計補正予算(11号)

◆補正総額

14億8142万7000円増

主な事業等

- ・国・県と協調した赤字路線バスの運行支援
- ・保育所、放課後学級、市立幼稚園等の衛生用品購入等
- ・児童発達支援事業所、民間学童クラブ等の安全対策への補助等

人事等

水戸市教育委員会委員

内田和子(任命)

人権擁護委員候補者

塩澤和子(再推薦)

須田洋治(再推薦)

野村貴広(再推薦)

根本ひろ美(推薦)

小川正一(推薦)

水戸市名誉市民

岡田 広(称号贈呈)

議員提出議案

1件

市議会個人情報保護条例

法改正に伴い、議会における個人情報保護に必要な事項について定めるため、新たに条例を制定するもの

可決した意見書



議員提出議案として、次の意見書を可決しました。

- 1 認知症の人も家族も安心して暮らせる社会の構築を求める意見書
- 2 新型コロナウイルス感染症の後遺症の方々の日常を守る取組の強化を求める意見書

陳情の結果



【不採択】

○令和5年陳情第4号

東前第二土地区画整理事業の公平公正な事業執行及び事業の早期完了について

本陳情については、願意に沿いがたく不採択とした。



公明党水戸市議会



令和5年度の予算編成における

重点政策は

Q 第7次総合計画の策定基本方針を踏まえて編成された令和5年度予算の重点政策について伺う。

A 最重要政策であることも・子育て支援では、市独自の「みとっこ未来パッケージ」を新たに打ち出し、小中学校入学に当たって3万円を支給する新入生応援金や、中学校の給食費無償化など子育て世帯の経済的負担軽減と相談・支援施策の充実に取り組む。教育分野では、学校施設の長寿命化改良や緊急安全対策を計画的に進める等、学習環境の向上に取り組む。そのほか、地域医療や健康づくり、障害者及び高齢者福祉、防災・減災対策などの充実・強化に努め、全ての市民が安全・安心を実感できるまちづくりを推進する。また、市民会館を拠点とした中心市街地の活性化や企業立地の促進等、地域経済の発展に資する取組を推進する。

いごも・子育て支援政策の
更なる拡充を

Q 我が国の昨年の出生数は80万人を割り込み、少子化対策は社会基盤の持続可能性を維持するために重

要である。市は、こども・子育て支援として令和5年度からの新たな計画を示したが、6年度以降の取組として、小学生の給食費無償化や、0〜2歳児や第2子の保育料軽減、子ども医療費(マル福)の完全無料化などの拡充により、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るべきである。見解を伺う。

A 給食費無償化の小学校への拡充や、0〜2歳児の保育料無償化などは、子育て世帯にとって優先度の高い事業であると認識しており、段階的に実施できるよう取り組む。子ども医療費の助成については、市独自に高校生相当の外来まで拡充しており、完全無償化については、給食費や保育料の無償化の進捗状況を鑑みながら取り組む。



0歳児

その他の質問

- コロナ禍で休日夜間緊急診療所が果たした役割は
- 地球温暖化対策実行計画(第2次)の目標と取組は
- 新たな借入(公園(千波公園等)整備基本計画の方針は
- 農業用水路への転落を防止する安全対策の実施を
- 水戸スタイルの教育の展望は

誠和会



防犯灯の設置・管理に係る

費用負担増への対応策は

Q 本市における防犯灯の設置・管理に係る費用は、町内会・自治会が負担する制度となっている。自治会加入率が低下している中で、加入者から不公平との声を聞いている。また、電気料金の高騰により、町内会等の負担は増大している。防犯灯の設置・管理に係る費用を全額市の負担とするか、または、防犯灯への補助制度を見直すべきと考える。見解を伺う。

A 地域住民による話し合いの上で補助金を活用し、地域の実態に即した防犯灯を設置・管理していただくことが公正公平な取組になると考える。町内会等の負担が増していることから、電気料金値上げ前の負担割合の水準に戻すため、令和5年度当初予算において補助金を増額する。今後も地域住民の意見を伺いながら、持続可能な補助制度を構築する。

弓道場整備の検討状況と
次期総合計画への位置付けは

Q 本市で弓道を行うことができる施設は県武道館のみであり、県庁所在都市及び中核市の中で市営武道

施設がないのは本市のみである。平成24年には市弓道連盟など武道8団体からの請願が、25年には市立弓道場建設に関する陳情が、それぞれ議会に提出され、いずれも採択した。過去の本会議でも弓道場の必要性を訴えながら幾度となく質問し、新たな総合計画の中で十分に検討するとの答弁を聞いた。これらの経緯を踏まえ、弓道場整備の検討状況と次期総合計画への位置付けについて、見解を伺う。

A 弓道関係団体の要望をはじめ、市民ニーズや県武道館との役割分担を踏まえ、今後の各スポーツ施設の改修計画や財政状況を考慮しながら、新たな総合計画を策定する中で、その位置付けについて十分検討していく。



土浦市立武道館弓道場

その他の質問

- ふるさと納税の現状と令和5年度からの拡充は
- 地球温暖化を止めるための具体的な取組は
- 市民の健康を守る地域医療構想の展望は
- 新規就農者の確保と資材等高騰に対する支援は
- 内原地区「いきいき交流センター」整備への見解は

魁、水戸



子どもたちにとっての
魅力のある街とは

Q 全国の自治体では様々な子育て支援事業を行っているが、支援金の額や物の優劣による都市間競争では心のこもった真の子育て支援とは言えない。家庭・学校・地域が三位一体で、子どもの健全な心や身体を醸成する「地域」こそが子育て支援の基盤であり、子どもにとって魅力と未来のある街ではないか。見解を伺う。

A 市独自のこども・子育て支援施策「みとっこ未来パッケージ」の策定に当たり、まちの未来そのものである子どもたちを社会全体で育んでいくまち・水戸の実現という強い思いを込めた。その実現に地域の力は欠かすことができない。地域とともにまち全体で子育てを応援し、安心して子どもを生み育てられる環境づくりを着実に進め、子育て世代から選ばれる魅力あるまちの実現を目指す。

水戸光圀公の再認識と

業績、遺徳の継承を

Q 水戸光圀公は「水戸黄門」として全国的な認知度を誇るが、テレビ放映が終了し、再認識の時期が来て

いる。光圀公が編纂に着手した「大日本史」は、水戸学の思想の柱「尊王攘夷論」となり、それが全国に伝播し、明治維新の魁となった。光圀公ゆかりの神戸湊川の「嗚呼忠臣楠子之墓」の石碑など、その歴史的事実も消えつつある。先人の業績や遺徳、歴史の継承等について考えを伺う。

A 観光振興を図る上で偉大な先人の功績を再認識し、次代へ継承することは大変重要と考える。光圀公ゆかりの史跡群の更なる魅力向上に努め、戦略的な情報発信により観光誘客につなげる。水戸の歴史の象徴でもある光圀公が掲げた彰往考来^{※1}の精神などをまちづくりに取り入れ、全国に誇れる観光都市・水戸を目指す。



光圀公をたたえる水戸黄門まつり

その他の質問

- 市民会館の問合せ状況や利用率予測は
- 市民組織仮称「天好きミトリオ」の結成は
- 黄門生誕の地の再整備に向けた取組は
- 弘道館の梅林や孔子廟等の整備を
- 神儒一致、文武一致の考えや実践は

日本共産党水戸市議団



こども・子育て支援パッケージの
今後の拡充方針は

Q 中学校の給食費無償化は前進だが、小学校の給食費についても無償化すべきである。また、3歳未満の保育料は近県の中核市などと比べ非常に高く、同じ所得で比較すると1.5〜2倍以上である。第2子の保育料無償化や他自治体並みの引き下げを行うべきである。さらに、子ども医療費の完全無償化など、子育て支援パッケージの拡充について、具体的な内容と方針を伺う。

A 国の政策等を注視しながら計画的な財源確保に努め、優先度の高い事業は段階的に施策を拡充するなど、中長期的な計画として「みとっこ未来パッケージ」を深化させていく。小学校給食費や0〜2歳児の保育料の無償化なども、令和6年度以降、段階的に実施できるように取り組む。子ども医療費の完全無償化は、給食費や保育料の無償化の進捗状況を鑑みながら取り組む。

泉町の上空通路整備と

中央ビル街区再開発の中止を

Q (1)京成百貨店と市民会館を結ぶ上空通路の工事費を8.7千万円増額するが、その理由は京成百貨店側の

事情によるものである。不正受給問題の渦中にある京成百貨店に利益をもたらす建設工事は中止すべきではないか。(2)泉町2丁目中央ビル街区の再開発計画が進んでいる。問題は、区域の大半を占める伊勢甚所有の中央ビルを多額の税金補助で建て替える点である。伊勢甚は市民会館建設時に旧京成デパートの解体費等で約40億円もの利益を得た上、1.1億円相当の権利床まで手に入れた。特定企業優遇の再開発に多額の税金をつぎ込むのはやめるべきと考えるがどうか。



泉町1丁目上空通路

A (1)本地区の一体化と市民の安全性、利便性の向上を図り、地域の活性化にも資する事業である。国・県との連携の下、事業の進捗を図る。(2)内容等の詳細は承知していない。

その他の質問

- 市民会館の住民訴訟で指摘された課題に対する見解は
- 原発60年超運転と再稼働への反対表明を
- 中学校における通級指導教室の増設を
- 不登校支援の拡充と不登校特別校の設置を
- 1県1水道に関する県の推進プランには不参加を

※1 彰往考来…過去を明らかにして未来を考えること。



水政会



水戸芸術館・市民会館からの

芸術文化の発信・創造は

Q 本市のシンボルである水戸芸術館は市制施行100周年記念事業として建設され、令和2年に30周年を迎えた。開館以来、本市の芸術文化を国内外に発信する基地として、多彩な事業を展開してきた。また、7月には議会でも協議してきた市民会館が開館を迎え、今後、多くの市民が集い、様々な芸術文化活動が行われることを期待する。市民の喜びと感動を生み出す芸術文化の発信と創造、それらの相乗効果による夢と希望の創出に向け、どのように取り組むのか。

A スタジオや展示室等を備えた市民会館の開館により、子どもたちを含め、市民が主体となる活動の裾野が広がり、今まで実現できなかった分野にも積極的に取り組める。ミトリオ^{※2}地区等において行政と民間事業者が十分に連携し、魅力や特色のある取組を展開する。

水戸市第二副都心赤塚駅周辺の整備の成果と今後の発展策は

Q (1) 昨年12月、都市計画道路3・4・149号赤塚駅西線の全線開通により、地域住民の悲願であった赤

塚駅周辺地区の南北一体化が実現した。これまでの当該地区の各種整備事業の成果について、市長はどう評価しているか。(2) 都市計画道路3・3・30号赤塚駅水府橋線(堀2工区)が完成すると、全線が概成し、本市の副都心として交通機能の更なる充実が図られる。現在の整備進捗と完了見込みを伺う。

A (1) 都市基盤と交通ネットワークにより、駅を中心とした持続可能でコンパクトなまちとして、子どもから高齢者まで安心して住み続けられるサービス機能確保できた。(2) 現在、用地取得を進めており、令和6年度からは、道路排水の流末となる西部図書館側より工事に着手する。令和13年度の開通を目指し、鋭意事業を推進する。



赤塚駅西線開通式

その他の質問

- 本市財政の現状に対する認識は
- みと未来財政プランの方針と財政運営の展望は
- 第7次総合計画の策定方針と市民参画の手法は
- 本市経済の成長の礎となる企業誘致策は
- 今後の国際交流の更なる推進に対する見解は

フォーラム水戸



よりよい保育実現のため

保育士の手厚い配置を

Q 昨年、保育所での子どもへの虐待や不適切な保育が各地で発覚した。背景に慢性的な現場の疲弊が指摘されており、保育士の配置基準の見直しを求める声が上がっている。よりよい保育実現のため、市独自に保育士を手厚く配置すべきと考える。保育士確保策や賃金等の処遇改善策とあわせて、見解を伺う。

A 市立保育所では保育士の柔軟な加配や保育補助者の配置を行い、民間保育所等では保育支援者等の雇用に対し補助金を支給している。市独自の就労支援制度により、これまで235人の保育士を確保した。令和5年度は大学等での就職説明会やハローワーク水戸との連携事業を再開し、保育士確保の取組を充実する。処遇改善については、民間保育所等で国の処遇改善等加算を活用し、市立保育所でも適正な給与水準を確保している。

県道玉里水戸線の

拡幅整備の早期着手を

Q 県道玉里水戸線のうち、赤塚中学校交差点から市営河和田住宅方面からの市道河和田27号線との交差

点までの区間は道路幅員が狭く、都市計画道路3・4・149号赤塚駅西線の開通による交通量の増加を受け、今まで以上に交通事故の危険性が高まっている。管理者である県は令和3年度に当路線の予備設計を行っており、土地境界を整理するための登記所備付地図の作成が3月に完了予定であることから、事業の準備と段取りは整ったものと考えられる。拡幅整備に早期着手してもらえよう、この絶好の機会に県に強く要望すべきと考える。見解を伺う。

A 事業化に向けては他の県道の整備進捗を見極める必要があると県から聞いている。早期着手に向け、引き続き県に強く要望し、安全で快適な道路環境の整備に取り組む。



県道玉里水戸線

その他の質問

- 県都としての水戸の魅力を高める方策は
- 広域避難計画策定の対応変更は
- 市道赤塚151号線の安全対策は
- シルバー人材センターの安定的な事業経営を
- 大型遊具やインクルーシブ遊具の整備を

※2 ミトリオ(MitoriO)・・・市民会館、水戸芸術館、京成百貨店の一体的なエリアの愛称

地域と学校をつなぐ コーディネーターの配置を

谷川 秋慎

Q コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)は、地域が学校の運営者として参画できる制度で、学校を核にした地域づくりを目指している。本市は県内でもいち早く小中学校で導入した。その現状や課題をどのように捉えているか。特に、地域と学校をつなぐコーディネーターを置くことが重要であり、その養成と配置についてどのように進めているのか。

A これまで学校運営協議会に、地域と学校を結びコーディネーター機能を持たせ、主に学校の管理職を中心にその役割を担ってきた。現在、双葉台地区をモデルケースに、市民センターにコーディネーター機能を持たせて、学校運営協議会での提案などを地域団体や地域住民に依頼し、幅広い参画を得ている。今後、地区を順次拡大していく。



学校運営協議会(双葉台中学校)

その他の質問

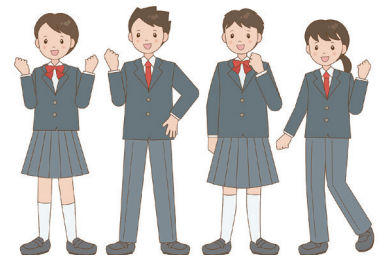
- 市民センターの利用サークルの年間予約を
- 市民センターの使用申請のオンライン化を
- 京成百貨店への見解とミトリオへの影響は

市立小中学校制服の 選択制導入に対する見解は

川口 滑り友

Q 昨今、学校制服を性別に関わりなく選択できるよう、デザインの変更を行う学校が増えてきている。従来の制服は、防寒がしづらいうこと、性被害につながるケース、性自認と一致した性別の制服を着用できずに不登校になるケースなどの課題がある。そのような中、令和3年に県は、県立高校や県立中等教育学校の全校で、性別に関係なく制服を選択できるようにすると発表した。より有意義に学校に通うことができ、安全性が向上するのであれば、本市も制服選択制を導入すべきと考える。見解を伺う。

A 多様性を尊重した制服の取扱い等、国・県の留意事項を各学校に周知し、児童生徒の考えや保護者の意見も踏まえながら、制服の選択制の導入や見直しが適切に行われるよう努める。



選べる学校制服(イメージ)

その他の質問

- 精神障害者保健福祉手帳の更新通知の取組状況は
- 手帳の有効期限が過ぎてしまった場合の対応は
- 中心市街地での屋外フリーWi-Fiの導入を

街路樹の適正な管理に 向けた計画の策定を

倉田 高富

Q 街路樹は景観向上や防災など複数の機能を有するが、樹齢の経過により巨木化・老木化が進み、根上りによる舗装の亀裂や段差の発生、枝の伸長に伴う建物や電線等への干渉など様々な弊害が起きている。そこで、街路樹の適正な管理に向けて、中長期的な管理計画を早期に策定し、具体的な取組を進めるべきと考える。見解を伺う。

A 現在、樹種や道路の状況に応じた適切な維持管理等に努めており、令和5年度は一部路線で街路樹を順次伐採する。今後は、これらの内容を検証した上で、道路形態や地域実情に合った街路樹の在り方を整理し、長期的な管理計画の策定に向けた検討を進める。数量の適正化等による効率的な維持管理に取り組み、安全で快適な道路空間の確保に努める。



枝が伸長した街路樹

その他の質問

- 放課後子ども教室の充実に向けた取組は
- AEDに係るバイスタンダーの養成状況は
- 幹線市道23号線(上水戸・赤塚線)の整備状況は

国保会計の黒字を活用して 国保税の値下げ実施を

中庭 次男

Q コロナ禍と物価高騰により市民の暮らしは苦しくなっており、特に国保に加入する年金受給者、自営の低所得者等は深刻な影響を受けている。国保税は所得に比べて高く、一人当たりの国保税は年平均9万7500円になる。さらに、令和4年度には国保税の算定方式が変更され、本市加入世帯のうち約4割が値上げとなった。一方で、4年度の国保会計の黒字は15億超を見込む。これを活用すれば一世帯当たり4万円程度値下げできる。一般会計からの繰り入れによる国保税の値下げ実施を強く求める。

A 市国民健康保険運営協議会の答申のとおり、5年度も現行税率を据え置くこととした。現在の繰越金は、被保険者の急激な負担増にながらぬよう配慮し、現行税率を維持するため計画的に活用する。



国保年金課窓口

その他の質問

- 飼料価格高騰に苦しむ畜産農家への支援策を
- 泉町の再開発事業への税金支出中止を
- 生活保護の扶養照会中止とケースワーカー増員を



保育所等での使用済みおむつの処分を

木子 鈴木 宣

Q 令和5年1月に国から、保育所等において使用済みおむつの処分を行うことを推奨する旨の通知があった。衛生面等の観点から、使用済みおむつの持ち帰りは多くの保護者が負担に感じており、園で処分してほしいとの要望が多い。保育士においても子どもごと使用済みおむつを分けて保管しなければならず負担になっている状況があり、改善が求められている。市の状況と今後の予定について伺う。

A 使用済みおむつの処分は、各施設の実情に応じて対応していた。市内民間保育所等の約85%では既に施設内で処分を行っている。一方、市立保育所等ではこれまで全て持ち帰り対応してきたが、令和5年4月から各施設で処分することとし、現在準備を進めている。



紙おむつ(イメージ)

その他の質問

- 妊娠届を提出した市民への支援を
- 認知症予防の取組としてeスポーツの導入を
- 空き家利活用の実態調査の考え方と空き家対策は

高齢者等の移動手段確保に向け水都タクシーの更なる拡充を

木子 黒田 勇

Q 人口減少が進む中、路線バスの減便や路線廃止が懸念され、高齢者等の移動手段の確保が課題である。市内11地区に導入された水都タクシーについて、(1)利用者にとって分かりやすい利用案内が必要である。(2)病院の診察時間に間に合うよう運行時間帯の拡充が必要である。(3)運転免許証を返納した方や高齢者が通院で利用できるよう、市内全域への拡充が必要である。それぞれ見解を伺う。

A (1)より分かりやすい制度の説明や具体的な使い方を図解した利用マニュアルの作成を進め、3月中の配布に努める。(2)朝9時から利用できるよう調整中であり、速やかに実施する。(3)高齢者等が自家用車に頼らず通院や買い物などに外出できる環境の整備は重要と認識しており、調査、研究を進める。



水都タクシー 酒門号

その他の質問

- ごみの分別について誰もが理解できる周知を
- 要支援・要介護の高齢者のごみ出しへの支援を
- 不法投棄防止用の監視カメラの運用状況と効果は

DX推進による「書かない窓口」の導入と広報・啓発を

森田 正

Q マイナンバーカードの申請受付数が全国で75%となり、DX化による「書かない窓口」の導入を約70%の自治体が進めている。申請書に記入せずに住民票等の交付が1か所できるワンストップ窓口を導入した北見市では、手続時間が短縮され、業務時間の削減につながった。本市も令和5年度から各種取組を進めるとあるが、先行実施したマイナポータルでの申請手続は認知度が低い。広報・啓発を強化し、メリットを実感できる取組にすべきである。見解を伺う。

A マイナンバーカードの提示により申請書類を自動作成できる機能や、LINE等から保育所利用にかかると各種申請書類を作成できるシステムの導入を進める。SNSや出前講座など様々な機会を活用し、積極的に広報・啓発に努める。



北見市役所の窓口

その他の質問

- 幼児健診の休日実施に向けた検討を
- 誰もが楽しめるインクルーシブ公園の整備を
- デジタル教科書の活用と保護者メールの統一を

中学校における通級指導教室開設の進捗は

藤子 後藤 通子

Q 第三中学校と笠原中学校に学習障がいのある通級指導教室を新たに開設することについて、これまで要望者とともに、市長をはじめ県教育長や市教育長、学校長と何度も意見交換を行い、要望書を提出したところである。これらの中学校における通級指導教室の開設に向けた進捗状況を伺う。

A 多様な学びの場を充実させる観点からも、新たに中学校におけるLD/ADHD*4通級指導教室を第三中学校に、情緒障害通級指導教室を笠原中学校に、それぞれ県に教員の加配を要望し、令和5年度の開設に向けた準備を進めている。今後においても、学習障害など特別な支援を必要とする児童生徒、一人一人の特性に応じた学びが進められるよう、きめ細かな支援に努めていく。



通級指導教室

その他の質問

- 5類変更後のコロナ対策は
- ヘルスケアの現状と今後の展望は
- 子育てにおける家庭教育の推進を

*3 DX(デジタル・トランスフォーメーション)…ICT(情報通信技術)の浸透が人々の生活をあらゆる面でよりよい方向に変化させること。

納豆の消費拡大に関する条例の普及促進の取組は

佐藤 昭雄

Q 本市の代表的な特産品の一つである納豆について、7月10日を納豆の日とした「納豆の消費拡大に関する条例」が昨年制定された。本年の納豆の日の取組をはじめ、納豆消費日本一に向けた積極的な予算措置を講じ、様々な機会を捉えた取組を強化して消費拡大、普及促進を図るべきである。見解を伺う。

A 条例の制定を踏まえ、昨年7月に都内のアンテナショップで納豆の販売促進や体験型ワークショップ等のPRキャンペーンを実施した。知名度やブランド力の向上のため「納豆のまち・水戸」のロゴマークを選定し、より一層の消費拡大、普及促進につなげる。今後も納豆事業者や関係団体等との緊密な連携により、シティブロモーション等の取組を積極的に展開し、更なる納豆の消費拡大を目指す。



都内アンテナショップでのPRキャンペーン

その他の質問

- 高齢者等への孤独・孤立対策は
- 「人生会議」の普及啓発を
- 水戸黄門神社周辺の今後の整備方針は

インスタグラムの導入による情報発信の強化を

引藤 健

Q インスタグラムは若い世代の利用者が多く情報が届きやすいといわれるが、市は公式アカウントを開設していない。現在活用しているSNSと併用すれば、情報を受け取る層が広がり、閲覧者数も格段に増やすことができる。より多くの人に情報を発信できるインスタグラムを導入するべきではないか。

A インスタグラムは魅力的な写真やイベント情報等の発信はもとより、利用者参加型の企画等で多くの方に市の魅力を伝えることができる。と考えており、これまでも調査研究を進めてきた。高校生との行政懇談会の際も、若い世代の情報入手手段として最も使われているインスタグラムを市でも活用してほしいとの提案を受けている。引き続き、効果的な活用方法を調査しながら、導入に向け準備を進める。



SNSアプリ「インスタグラム」

その他の質問

- 防犯設備に関する取組と地域団体への支援状況は
- 市民センターでのパーテーション等設備の取扱いは
- ごみ集積所設置の要請と補助制度の創設を

動物愛護の啓発と殺処分ゼロの取組を

土田 美代

Q (1)殺処分につながる犬猫を減らす最も重要な対策は不妊去勢手術の徹底であり、ボランティア団体等が各地で集団手術を行っている。昨年7月にボランティアの協力で動物愛護センターでの集団手術が実施されたが、今後市の独自事業として定期的に行うことはどうか。(2)センターにレントゲンやエコー等の医療機器を導入し、負傷動物の治療ができる体制にするとともに、センターの獣医職員の臨床経験や医療技術の向上のため、動物病院等への研修を行うことはどうか。

A (1)今後も機会を捉えて当該取組を実施する。(2)軽傷の治療や譲渡の際の不妊去勢手術はセンターで行い、重症の場合は市内病院と連携して適切に治療している。外部の獣医師を招いての技術研修等を実施し、技術の研鑽に努めている。



新たな家族を待つ保護犬

その他の質問

- 放課後学級の民間委託の問題点は
- 学校プールの存続と屋外市民プールの整備を
- 市民会館は市民のための運営に見直しを

食料安全保障の強化に向けた本市の考えと今後の取組は

田口 威

Q ロシアによるウクライナ侵略の影響で肥料原料等の入手が困難な状況となっており、食料安全保障の脆弱さが浮き彫りとなった。国は構造転換対策に取り組むとしたが、この施策は大規模経営体等を対象とするものが多く、本市での活用は限定的である。食料安全保障の強化に向け、生産経費と環境負荷の低減を図りながら食料自給率の向上を目指すことが重要と考える。本市の考えと今後の取組を伺う。

A 麦・大豆等農産物の生産と利用の拡大、飼料作物の生産拡大、化学肥料の使用量低減が必要と認識しており、圃場の大区画化や自給飼料の生産促進等に取り組んできた。今後もこれらを一層推進しつつ、国の戦略に掲げられた施策等を活用し、持続可能な生産構造の確立と食料自給率の向上に取り組む。



食料供給を担う農家

その他の質問

- (仮称)東部公園整備の経過と完成までの工程は
- 那珂川築堤における吉沼・大野地区の整備計画は
- 中大野中河内線の大野・谷田工区と橋梁の整備は



借楽園駅

その他の質問

- 子ども・子育て支援の現状と取組は
- 駅前マイム水戸都市開発ビルの現状と課題は
- 新型コロナウイルス感染症の5類変更後の対応策は

A これまで借楽園駅常設化に向けた課題の整理を進めるとともに、JR東日本及び県とともに勉強会を開催し、課題等の認識を共有した。将来人口予測や交通手段別の分担率など、様々な面から検討が必要であることを確認している。令和5年度は常設化の需要調査の費用を予算化し、具体的な検討を進める。市の根本的な都市構造に大きな影響を与えるため、引き続き、関係機関と密に協議を重ねていく。

Q 借楽園は表門から入ることで、そのよさを十分に感じることができず、利用者が少ない状況にある。借楽園駅を常設化すれば、表門を訪れる人が増え、さらに、周辺施設の利用促進にも寄与する。また、水戸駅と赤塚駅の間工エリアが活気づき、長期的には市全体の活性化にもつながる。進捗状況を伺う。

借楽園駅の常設化に関する進捗状況は

はかまつか
袴塚
孝雄

市民会館の現地視察

新市民会館整備等調査特別委員会において、2月14日に現地視察を行いました。本年7月2日の開館に向けて施設設備や上空通路の整備等が進められており、12月にはG7茨城水戸内務・安全担当大臣会合の会場としても使用される予定です。



現地視察の様子



グロービスホール(大ホール)

声の議会報について



水戸市議会では、目の不自由な方に市議会の活動をお知らせするため、市内ボランティア団体のご協力をいただき、「水戸市議会報」を音声化した「声の議会報」をHPにて掲載しています。

また、市内各図書館(中央図書館を除く)においてもCDを貸し出しています。

市内にお住まいで音声データの送付を希望される方は、議会事務局までご連絡ください。

行政文書の開示の実施状況

水戸市議会情報公開制度は、公文書を公開することにより広く開かれた水戸市議会を目指そうとする制度です。

令和4年度情報公開の請求及び決定の件数

請求件数	決定の区分				審査請求
	全部開示	部分開示	不開示		
			うち不存在		
28	27	—	1	1	—

特別委員会最終報告

本会議において、各特別委員長が調査の経過等について、最終報告を行いました。

各特別委員会の最終報告の概略は次のとおりです。

行財政改革調査特別委員会

行財政改革プラン2016の実施状況や行政組織の見直しなど、行財政改革に関する事項について、調査、検討を進めてきた。県内で初となる中核市への移行を果たし、保健所の設置や国に先駆けてのことも部の創設など行政サービスの向上が図られたものの、新型コロナウイルス感染症や物価高騰など、社会情勢は大きく変化しており、時代に沿った行財政改革がなお必要である。

執行部においては、今後もより一層の財政の健全化と行政サービスの維持向上を目指し、全庁が一丸となって行財政改革プラン2016の適正な進行管理と徹底した行財政改革に取り組むことを求める。

新市民会館整備等調査特別委員会

新市民会館の整備に向け、泉町1丁目北地区第一種市街地再開発事業及び周辺整備の審議をはじめ、指定管理者の指定や管理運営の手法等について、慎重に調査、検討を重ね、令和4年10月31日には新市民会館の本体工事が完了し、事業の着実な推進を確認した。

執行部においては、適切な財政計画の下、本年7月2日の開館に向けた施設設備や上空通路の整備を着実に進めるとともに、G7内務・安全担当大臣会合の受入れ体制の構築、新市民会館周辺エリア「ミトリオ」を核としたにぎわいの創出に鋭意取り組むことを強く求める。

新ごみ処理施設整備等調査特別委員会

新ごみ処理施設の建設及び周辺整備について、慎重に調査、検討を重ね、新清掃工場「えこみっと」、第三最終処分場及び下入野健康増進センター等の着実な整備が図られたことを確認した。

執行部においては、引き続き、新ごみ処理施設の効率的な運営に努めるとともに、更なる市民福祉の向上に向け、新斎場等の整備に鋭意取り組むことを求める。

借楽園・千波湖周辺整備等調査特別委員会

借楽園・千波湖及び周辺地域の整備に向け、パークPFIの導入方針や公募設置等指針をはじめ、陳情審査、県の事業計画等についても慎重に調査、検討を重ね、本月初となるパークPFI事業の進捗を確認した。

執行部においては、引き続き当事業の着実な推進に取り組み、千波公園の新たな核として、本市のにぎわい創出の拠点となるよう市民に親しまれる施設整備を求める。

水泳競技施設等調査特別委員会

令和元年陳情第5号「新水戸市民プールの建設を求める陳情」の審査をはじめ、本市プールの利用状況、水泳競技施設の公認基準、他市の事例、県内における大会の開催状況等について、多様な観点から議論を進めてきた。

執行部においては、市民スポーツの振興や健康づくりの推進に資する本市の水泳競技施設等の在り方や第7次総合計画における新たなプール整備の位置付けについて、更なる調査、検討を求める。

市議会の運営

本会議

議員全員で構成し、市議会の意思を決定する会議です。市議会に提出された議案や市議会としての意見表明などの可否は、最終的には全て本会議において決定します。また、議員が市政全般の施策等について市長の考えを問いただす代表質問、一般質問などを行います。

委員会

【議会運営委員会】

議会運営を円滑に行うため、各会派の代表者による8名の委員からなる議会運営委員会を設置しています。各会派の意見を調整し、議会運営上必要な事項に関し取り決めを行います。

【常任委員会】

市の業務は非常に幅広く複雑なため、少数数の議員で構成する常任委員会を設け、議案や請願などを専門的、能率的に審査しています。本市議会には、4つの常任委員会があります。

【特別委員会】

一般会計や特別会計の決算などを審査する特別委員会と、特定の問題を審査、調査する特別委員会があります。いずれも臨時的に設置し、その設置期間は、審査、調査が終了するまでとなっています。

文教福祉委員会



令和5年度一般会計当初予算 (文教福祉委員会所管分)

主な質疑 福寿のつどいの事業方針，小中学校新入生応援金の対象者及び支給時期，放課後学級の民間委託，子ども会の現状及び本市の考え方，保健所の体制強化，出産・子育て応援ギフトの支給内容，伴走型相談支援の相談体制，子育て世帯訪問支援事業における対象者の選定，学校部活動における外部人材の活用，小学校特別支援教育に要する会計年度任用職員の採用，屋内運動場への空調設備の設置など

主な意見 (1)福寿のつどいについては，参加者等の意見を踏まえた上で，事業内容を十分検討されたい。(2)小中学校新入生応援金の支給に当たっては，申請漏れのないよう丁寧な事務手続に努められたい。(3)放課後学級については，児童が安心して利用できるよう支援員の処遇の充実を図られたい。(4)感染症対策等のため保健所職員の増員が図られたことから，更なる業務の推進に努められたい。(5)出産・子育て応援ギフトについては，対象者のニーズや事業目的に則したものとなるよう制度の充実を図られたい。(6)伴走型相談支援事業については，より相談しやすい体制づくりに配慮されたい。(7)学校部活動における外部人材の活用については，効果的な運営体制の構築に努められたい。(8)小学校特別支援教育に要する会計年度任用職員については，児童の教育環境を整える資質能力を有する職員の採用に努められたい。

賛成多数

総務環境委員会



土砂等による土地の埋立て等の規制に関する 条例の一部改正

主な質疑 市内における不法投棄の具体的な事例，条例改正により想定される効果，条例違反があった場合の警察等関係機関との連携など

全会一致 賛成

令和5年度一般会計当初予算 (総務環境委員会所管分)

主な質疑 ^{すいっと}水都タクシー拡充の考え方，行政手続のデジタル化による「書かない窓口」導入に当たっての具体的なメリット，市民センター長寿命化改修の事業計画，災害備蓄物資の配備予定箇所と今後の方針，防犯灯管理補助金の積算根拠，元吉田町事務所の解体撤去後の土地の利活用方針，市民会館整備事業における備品の購入計画，住宅用太陽光発電システム設置補助金の積算根拠，水戸黄門ふるさと寄附金の実績，斎場の施設改修計画，浜見台霊園合葬式墓地の応募状況と今後の運営方針，旧小吹清掃工場の解体スケジュールと跡地の利活用方針など

主な意見 (1)元吉田町事務所の解体に当たっては，建物の構造等の正確な把握に努められたい。(2)水戸黄門ふるさと寄附金については，事業内容を精査し，本市への寄附額増加につながるような取組を強化されたい。

賛成多数



旧小吹清掃工場

建設企業委員会



市街化調整区域に係る開発行為等の許可基準に関する条例の一部改正

主な質疑 開発許可の対象業種や区域の要件, 誘致企業に義務付ける環境保全対策など

主な意見 企業誘致の更なる推進に向け, 今後は対象業種や区域等の要件緩和についても検討された。

賛成多数

令和5年度一般会計当初予算 (建設企業委員会所管分)

主な質疑 狭あい道路整備の進捗状況, 交通安全施設の整備状況, 泉町周辺地区整備事業及び水戸駅前三の丸地区市街地再開発事業における補助金の内訳, レイクサイドボウル跡地駐車場の整備計画, 千波湖への試験通水による浄化効果, 緑化推進対策経費のうち報償費の積算根拠及び対象要件, 市営住宅の老朽化対策, 会計年度任用職員の配置状況及び職務内容など

主な意見 (1)住宅整備事業においては, 長寿命化改修工事とともに適切なリノベーション工事を行うことも検討し, 市営住宅の空き室解消を図られたい。(2)適正な職員配置の下, 事業の着実な進行管理を行い, 繰越明許費の縮減に努められたい。

賛成多数



浄化が進む千波湖

産業消防委員会



令和5年度一般会計当初予算 (産業消防委員会所管分)

主な質疑 農地中間管理機構集積協力事業補助金の概要及び財源内訳, 水田経営体育成加速化事業における対象区域の選定理由, 農業農村多面的機能維持事業の現状, 有害鳥獣による被害状況や補助対象, 市民農園開設支援事業補助金, 創業期支援事業の補助要件, コワーキングスペース水戸の運営経費, 企業立地促進補助金の積算根拠及び実績, 魅力発信と誘客促進事業の概要, 観光施設整備事業費の詳細, 応急手当講習会の開催見込み, 自家用給油取扱所整備に向けた検討事項, 消防訓練及び研修会の実績, 耐震性貯水槽の設置状況及び維持管理方法, 消防職員の職場環境など

主な意見 (1)市民農園の開設支援に当たっては, 農業や食に対する市民の意識醸成に努められたい。(2)企業立地促進事業については, 事業者と緊密に連携しながら, 本市産業の活性化及び雇用機会の拡大に向けて鋭意取り組まれたい。(3)本市の更なる魅力向上に向けて, 商工・観光部門が一丸となり, 水戸市民会館や二の丸角櫓をはじめとする水戸ならではの地域資源を最大限に生かし, 有機的に連携するための施策を展開されたい。(4)消防職員が円滑に業務を遂行できるよう, 引き続き良好な職場環境の構築に努められたい。(5)火災予防広報啓発事業については, 住宅用火災警報器の設置促進等に着実に取り組まれたい。

全会一致 賛成

1 予算編成の基本方針(令和5年3月6日本会議 市長提案理由説明から)

「令和5年度予算においては、国及び地方の財政運営方針とともに、現在策定を進めている第7次総合計画の策定基本方針を踏まえ、みと魁プランの推進、子育てしやすいまちづくりの推進、安全・安心を実感できるまちづくりの推進、経済が発展するまちづくりの推進、デジタル変革(DX)の推進、そして、持続可能な財政基盤の確立に向けた行財政改革等の推進という6つの基本方針の下、編成を行いました。

特に、最重要政策である子ども・子育て支援については、安心して子どもを産み育てることができる環境整備を着実に進めるため、これまで以上に予算の重点化を図ったところであり、子育て世帯の経済的負担の軽減をはじめとする様々な施策の拡充に取り組むことといたしました。

また、時代の要請を踏まえ、行政手続のDXやゼロカーボンシティの実現に向けた取組を推進するとともに、本市の更なる飛躍を目指し、7月に開館する水戸市民会館を拠点とした中心市街地の活性化や企業立地の促進など、地域経済の発展に資する施策を積極的に展開することといたしました。」



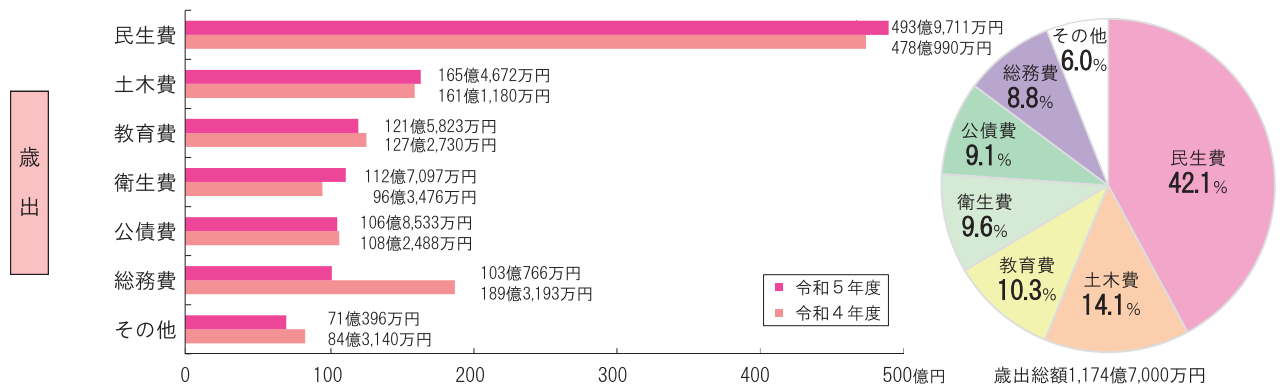
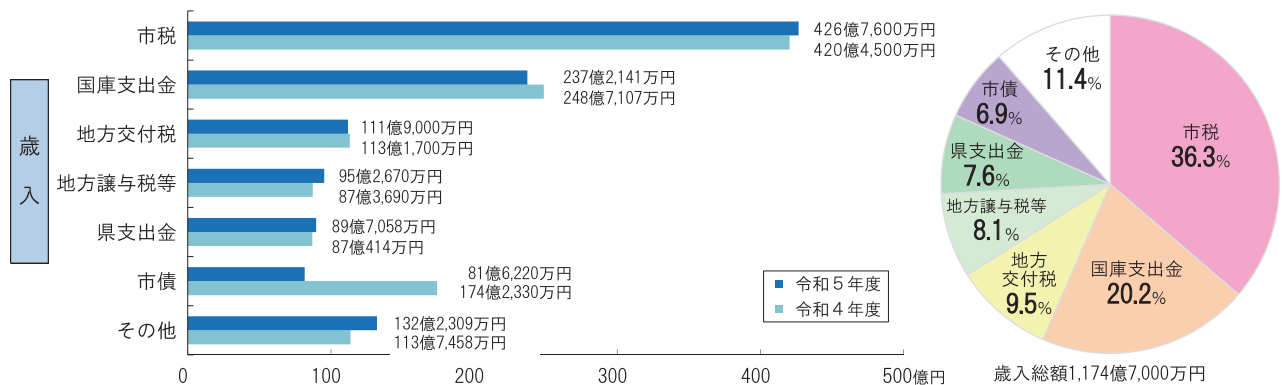
高橋市長

2 予算の規模等

(1) 予算の規模

区分	令和5年度	令和4年度	増減	増減率(%)
一般会計	1,174億7,000万円	1,244億7,200万円	△70億200万円	△5.6
特別会計	543億840万円	539億7,580万円	3億3,260万円	0.6
公営企業会計	310億5,700万円	289億5,800万円	20億9,900万円	7.2
計	2,028億3,540万円	2,074億580万円	△45億7,040万円	△2.2

(2) 令和5年度一般会計予算の状況



※金額については、千円単位を切り捨てて表記。

令和5年度の新規事業

企画総務部門

まちなかシェアサイクル事業	420万円
行政手続のDXによる市民サービス向上	3,380万円

市民協働部門

市管理防犯灯のLED化事業	2,163万円
国際交流センター開館25周年記念事業	1,000万円
市民会館開館記念事業	3,000万円



市民会館(泉町1丁目)

福祉部門

高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施 (介護保険会計)	376万円
----------------------------------	-------

こども部門

新入生応援金の支給	1億4,530万円
放課後学級のWi-Fi環境整備	178万円
出産・子育て応援ギフト事業 伴走型相談支援事業	2億1,870万円
子育て世帯訪問支援事業	1,457万円
多胎妊娠の妊婦健診助成事業	76万円

保健医療部門

高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施	1,125万円
地域医療及び地域保健を推進するための 寄附講座開設事業	1,500万円
寄附金を活用した動物愛護推進事業	160万円

産業経済部門

全国商工会議所観光振興大会開催支援	500万円
全国梅サミットの開催	200万円
農地集約型大規模水田経営体育成加速化事業	1,200万円

都市建設部門

大規模建築物等耐震化支援事業	7,920万円
----------------	---------

消防部門

自家用給油取扱所の整備	100万円
-------------	-------

教育部門

中学校給食費の無償化	3億1,200万円
妻里小学校長寿命化改良事業	3,520万円
飯富小学校・中学校整備事業	2,500万円
酒門小学校校舎増築事業	3,630万円
学校施設バリアフリー化推進事業	1,900万円

議会部門

議会のICT化に向けたタブレット端末の導入	392万円
-----------------------	-------

※金額は当初予算額を表す(千円以下を切り捨てて表記)。

令和5年度の市政運営の基本方針及び市の予算については、広報みと(令和5年4月1日号)の特集もご覧ください。





議会日誌

1/10	総務環境委員会 文教福祉委員会 産業消防委員会 建設企業委員会 全員協議会 代表者会議	2/10	水泳競技施設等調査特別委員会 代表者会議	3/15	本会議 代表者会議
2/10	総務環境委員会 文教福祉委員会 産業消防委員会 建設企業委員会 全員協議会 新市民会館整備等 調査特別委員会 行財政改革調査特別委員会 新ごみ処理施設整備等 調査特別委員会 偕楽園・千波湖周辺整備等 調査特別委員会	2/14	新市民会館整備等 調査特別委員会	3/16	総務環境委員会 文教福祉委員会 産業消防委員会 建設企業委員会
		2/21	総務環境委員会 文教福祉委員会 産業消防委員会 建設企業委員会 新市民会館整備等 調査特別委員会 行財政改革調査特別委員会 新ごみ処理施設整備等 調査特別委員会 偕楽園・千波湖周辺整備等 調査特別委員会	3/17	総務環境委員会 文教福祉委員会 産業消防委員会 建設企業委員会
		2/27	議会運営委員会	3/20	総務環境委員会 文教福祉委員会 産業消防委員会 建設企業委員会 議会運営委員会
		3/6	本会議	3/22	代表者会議 議会運営委員会 全員協議会
		3/13	本会議	3/23	本会議 議会報編集委員会
		3/14	本会議		

議会を見よう

本市議会では、インターネットでの本会議のライブ配信及び録画配信、常任委員会の録画配信を行っています。

また、常任委員会及び特別委員会の会議記録も公開しておりますので、ぜひご覧ください。



議会中継



委員会会議記録

傍聴のご案内

本市議会では、本会議をはじめ、常任委員会や特別委員会等の会議を傍聴することができます。

各会議の傍聴を希望する方は、下記を参考にお越しください。

	本会議	議会運営委員会、 常任委員会等	特別委員会等
定員	104名 (うち車椅子利用の方は4名)	5名	10名
受付場所	8階(傍聴席入口)	7階(議会事務局)	
手続き	・当日、先着順 ・傍聴券に住所、氏名を記入	・開議予定時刻の40分前～10分前までに受付 (定員を超えたときは抽選) ・委員会傍聴申請書に住所、氏名を記入	

6月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
6/4	5	6 本会議	7 本会議	8 本会議	9 本会議 (提案理由説明) 議案説明会	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19 本会議 (代表質問)	20 本会議 (代表質問) (議案質疑) (一般質問)	21 本会議 (一般質問)	22 常任委員会	23 常任委員会	24
25	26 議会運営委員会	27 議会運営委員会 全員協議会 本会議 (議了)	28	29	30	7/1

※6月10～18, 24～26日は議案調査

編集委員会

委員長 後藤 通子
副委員長 森 正慶
委員

滑川 友理 須田 浩和 土田記代美
佐藤 昭雄 高倉富士男 大津 亮一
渡辺 政明 栗原 文隆 安藏 栄
田口 米蔵

編集後記



水戸市マスコットキャラクター「みとちゃん」

議員任期の最後となる今定例会では、令和5年度当初予算などの議案について、慎重かつ活発に審議し、議決しました。議員任期中は、令和元年台風第19号による那珂川水害、令和2年からの新型コロナウイルス感染拡大、令和3年からのウクライナ侵攻に伴う物価高騰など、様々な対応を迫られる激動の4年間となりました。今後も安全・安心な市民生活を守る水戸市議会として、皆様のご意見、ご要望にお応えできるよう、一層努力してまいります。 [森 正慶, 高倉 富士男 記]